



2025年度3Q累計 (2026年3月期 第3四半期) 決算補足説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2026年2月

■売上高：受注は前年並みを確保も、売上高は微減

（国内）半導体工場建設計画の延期等の影響により減収

（海外）中国景気低迷の影響あるも、台湾の半導体関連の販売が好調で増収

■利 益：売上原価率の上昇及び研究開発費の増加により減益

（単位：百万円）

	2024年度 3Q累計実績	2025年度 3Q累計実績	前年同期比増減	
			金額	率
売上高	12,909	12,758	▲150	▲1.2%
営業利益 売上高比	863 6.7%	372 2.9%	▲491	▲56.9%
経常利益 売上高比	949 7.4%	410 3.2%	▲538	▲56.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 売上高比	650 5.0%	329 2.6%	▲321	▲49.4%

計測機器事業（減収減益）

売上高	12,576百万円	（1.2%減）
セグメント利益	1,055百万円	（33.4%減）

- 国内売上高：主に機器販売が軟調に推移し減収
 - ①環境・プロセス分析機器：半導体工場建設計画の延期等の影響により減収
 - ②科学分析機器：部材調達難による在庫不足から販売が減少し減収
 - ③医療関連機器：医療機関の設備投資が低調な中、粉末型透析用剤溶解装置の販売が低調で減収
 - ④電極・標準液／保守・修理／部品・その他：部品販売が減少も、保守・修理は好調で増収
- 海外売上高：中国景気低迷の影響あるも、台湾の半導体設備向け販売が好調で増収
- 利益：労務費の増加等による売上原価率の上昇と研究開発費の増加により減益

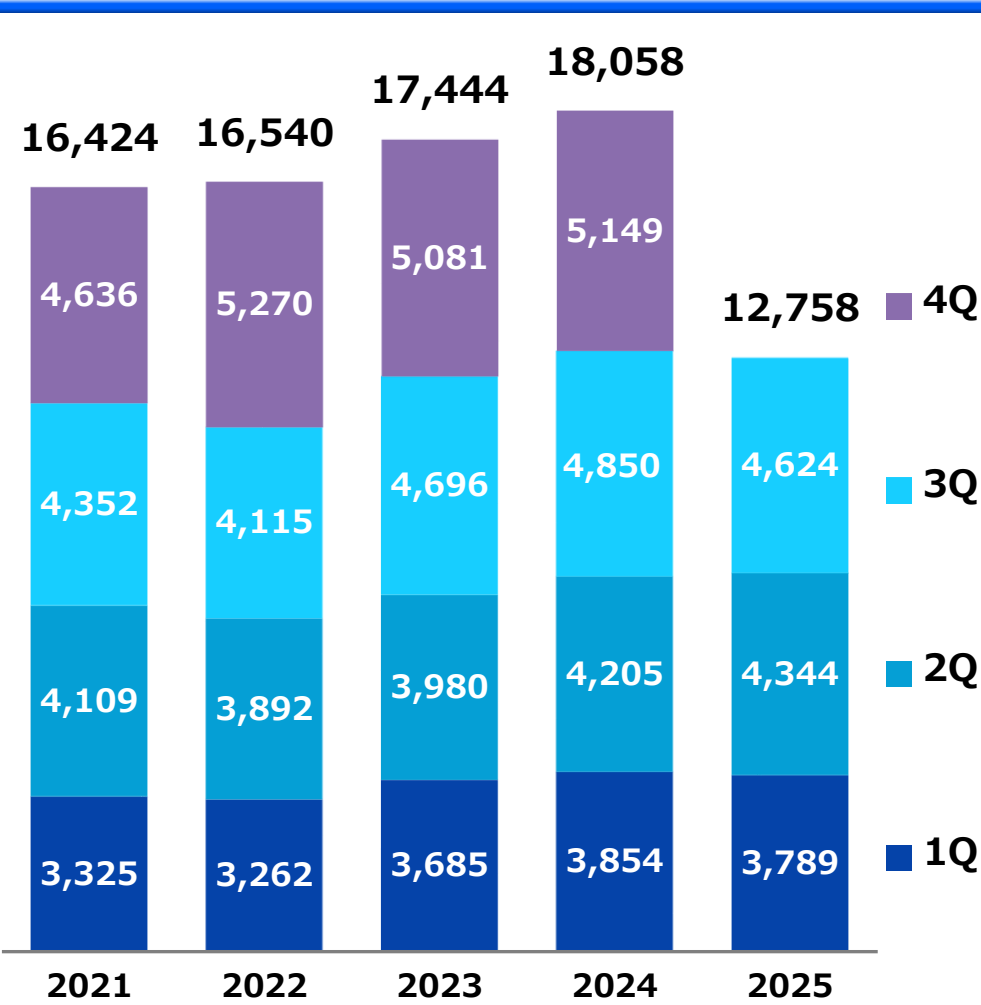
不動産賃貸事業（減収増益）

売上高	182百万円	（0.0%減）
セグメント利益	105百万円	（2.9%増）

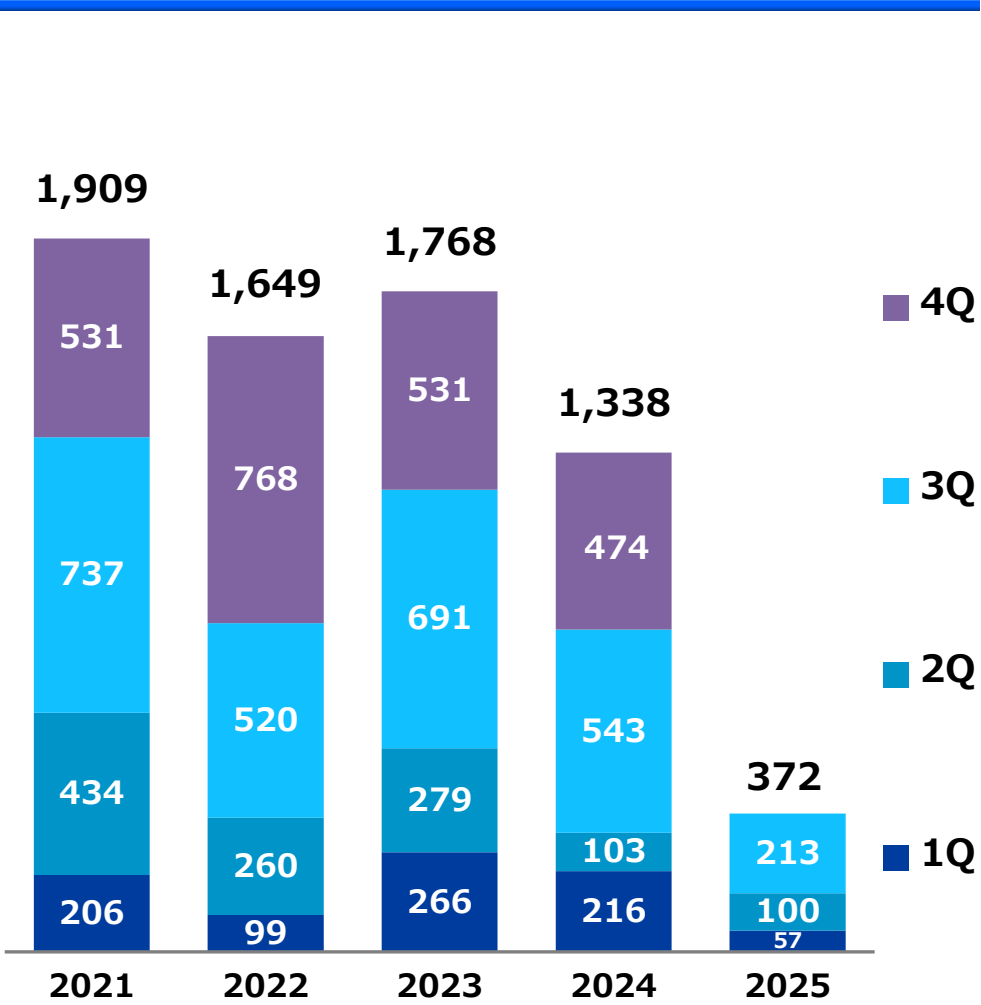
- 主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

(単位:百万円)

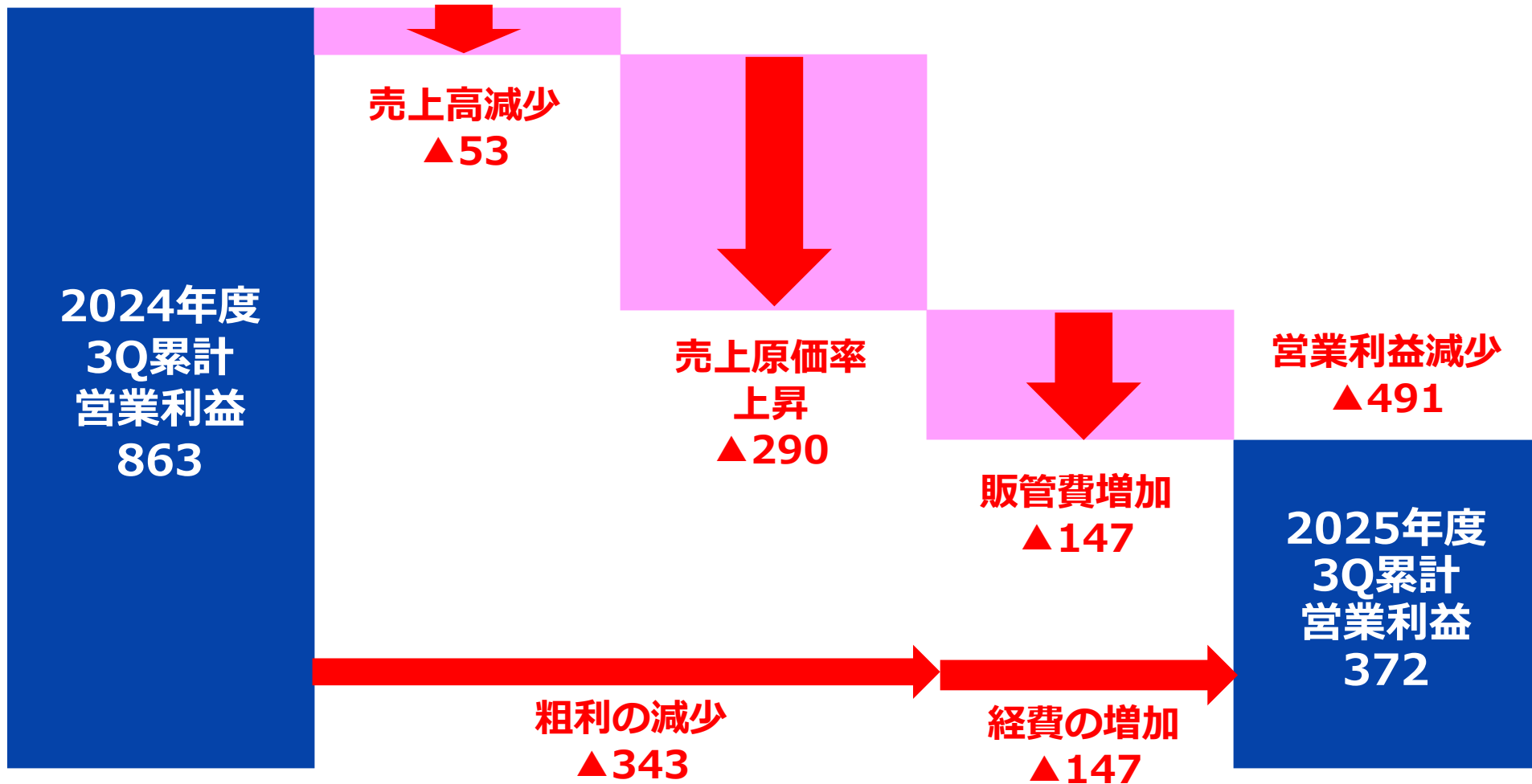
売上高



営業利益



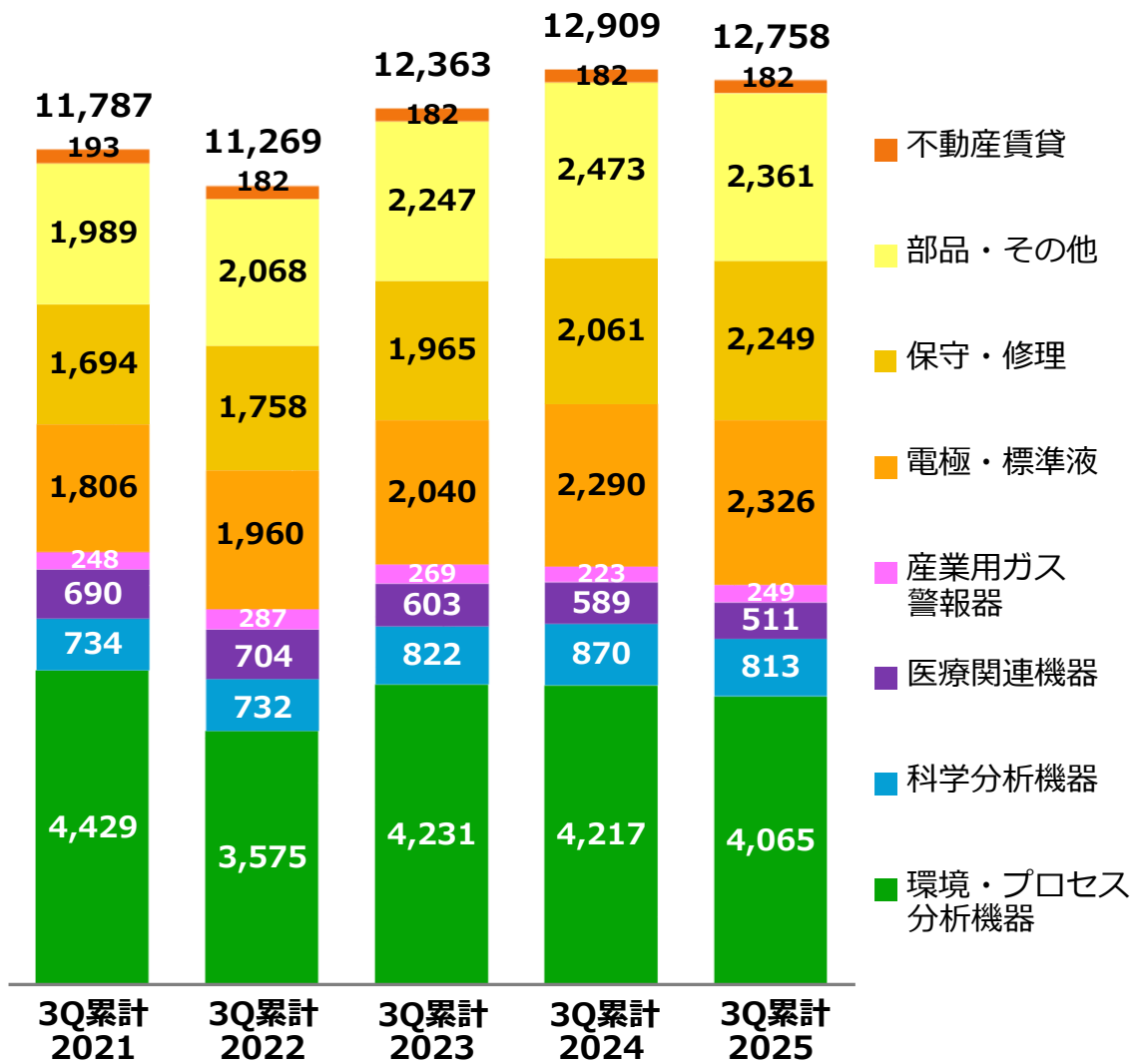
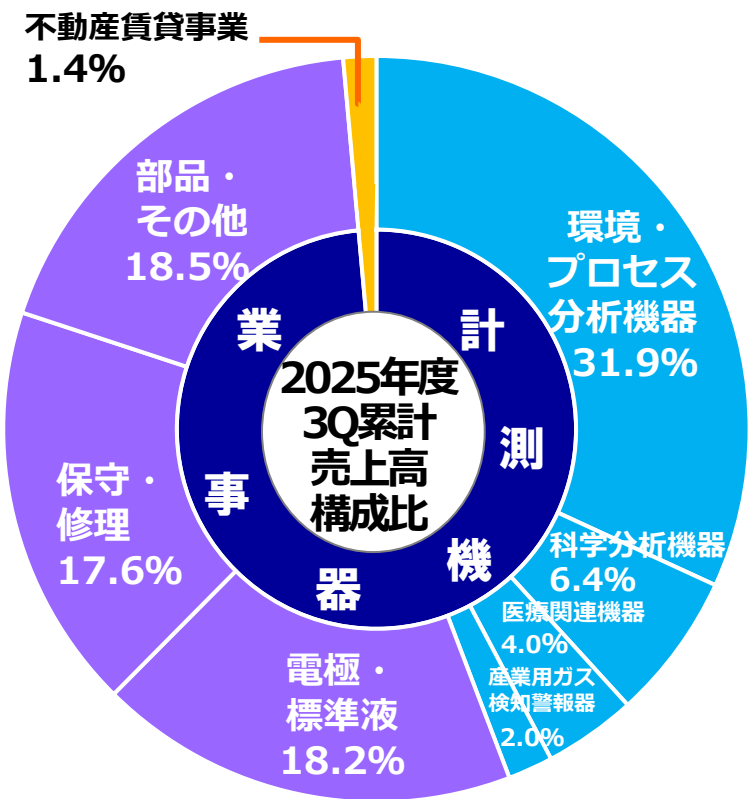
(単位:百万円)



売上高の分野別構成比と推移



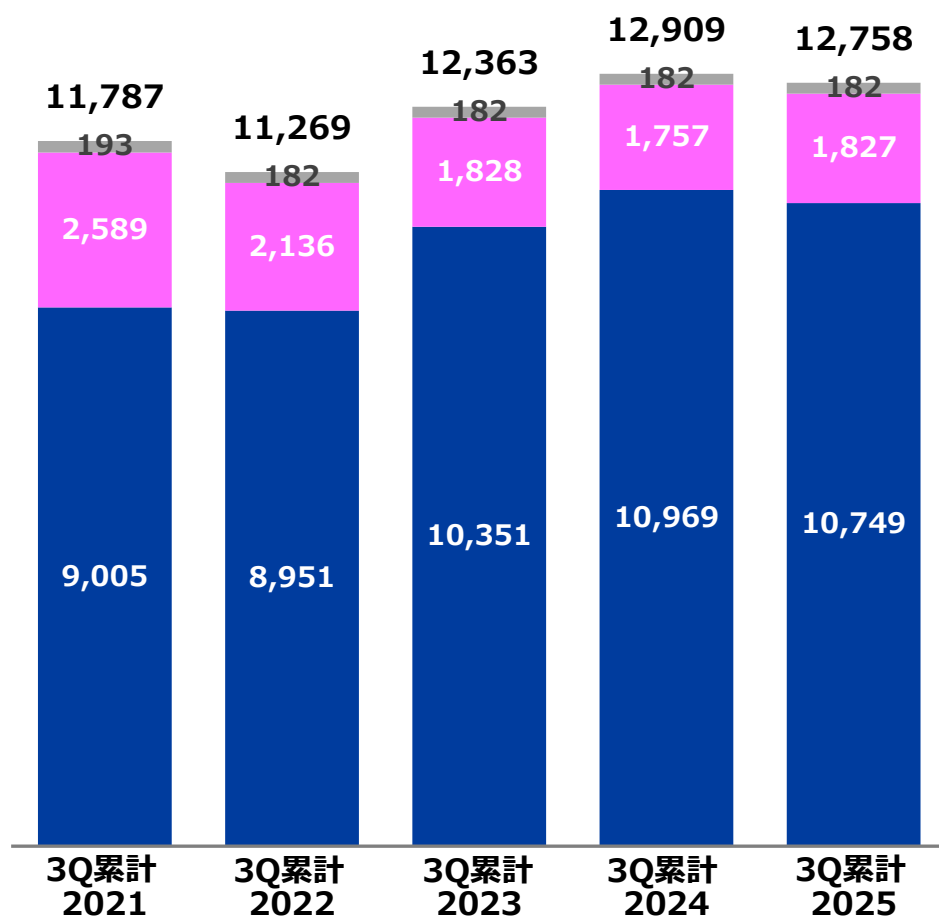
(単位:百万円)



(単位:百万円)

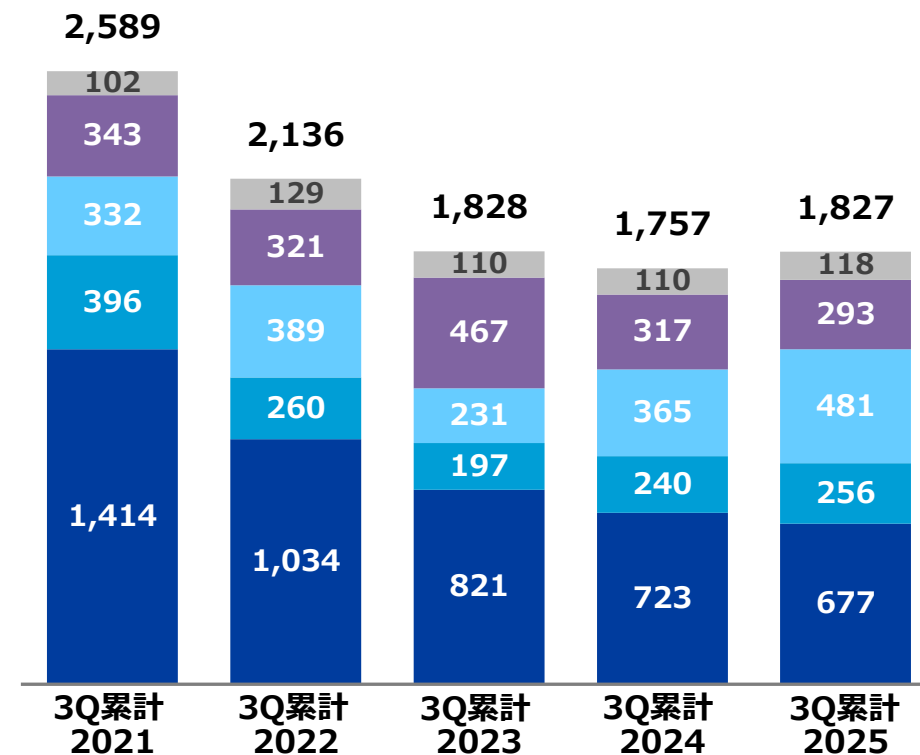
国内外の売上高

■ 計測機器：国内 ■ 計測機器：海外 ■ 不動産賃貸



海外の国別売上高

■ 中国 ■ 韓国 ■ 台湾 ■ その他アジア ■ その他



■通期業績予想を下方修正（2026年2月10日公表）

- ・国内半導体工場建設計画の延期や公共設備需要の低迷に加え、中国での販売不振により減収
- ・労務費増加や原材料費高騰、長期滞留在庫の評価損計上による売上原価率上昇や、研究開発費増加により減益

■期末配当額は前回予想の22円を据え置き

（単位:百万円）

	2024年度 実績	2025年度 修正予想	前期比増減	
			金額	率
売上高	18,058	17,835	▲223	▲1.2%
営業利益 売上高比	1,338 7.4%	510 2.9%	▲828	▲61.9%
経常利益 売上高比	1,474 8.2%	580 3.3%	▲894	▲60.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,113 6.2%	846 4.7%	▲267	▲24.0%

- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本資料の金額は、表示単位未満を切り捨てているため、合計が合わない場合があります。
また、比率は円単位で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

■ お問い合わせはこちらから <https://www.toadkk.co.jp/contact/ir/>

■ 当社Webサイト IR情報ページ <https://www.toadkk.co.jp/ir/>